



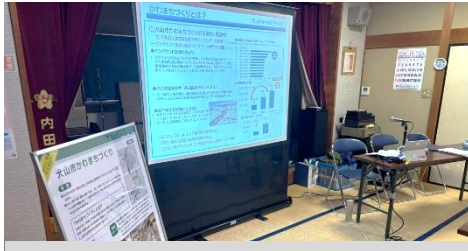
令和 8 年度

犬山市観光戦略会議

施策別シート



犬山市観光戦略 施策別シート

重点プロジェクト名	1 遊園ルネサンス
高めるもの・方向性	景観・インフラの整備（ハード施策）
チャレンジする施策	憩いの場、滞在の場としての内田地区木曽川河畔整備（社会実験から実装へ）
施策の取り組み	内田地区の河畔空間を高質化するとともに、古くて新しい観光スポットとして、そして市民にとっても憩いの場となることを目指し、魅力ある河畔空間の整備に向けた取組をR4年度より継続している。「犬山市かわまちづくり計画」がR7年8月に国土交通省に登録され、伝達式が執り行われた。内田地区で説明会をR7年11月・R8年2月に全5回開催。実証事業も継続しており、R7年12月-R8年1月には「INUYAMA YOI NO MICH」竹あかりナイトウォーク」で回遊性向上を目指す取り組みを展開した。  犬山市かわまちづくり計画の登録証伝達式  宵のカタリーヴァ（射的）  内田地区 説明会  INUYAMA YOI NO MICH 竹あかりナイトウォーク
取り組みの総括	● 犬山市かわまちづくり計画の登録 R7.8 「犬山市かわまちづくり計画」が国交省に登録され、R7.10には登録証伝達式が開催された。 ● 宵のカタリーヴァ R7.8 射的・風車クラフトの体験ブースを運営 2日間で延べ332名が体験。 ● 内田地区 説明会 R7.11・R8.2 かわまち計画について全5回開催し、延べ44名が参加した。 ● INUYAMA YOI NO MICH R7.12 - R8.1 全長約200mで竹あかりを設置、冬場における新たな魅力創出と回遊性向上を目指した。
今後の展開（予定）	● 犬山市かわまちづくり計画の推進 市、事業者、住民及び河川管理者が連携協力して概ねR8年～R12年の5カ年で整備を進めることで「<u>日本一美しい河畔</u>」を目指す。 整備分担 国土交通省 親水護岸（階段護岸）・堤防盛土 犬山市 遊歩道の再整備 など ● 各種実証事業の継続実施 地元住民など河畔に関わる人達との関係性を深め、河畔に必要な機能の把握と実践、地元と調整しながら整備に向けた機運を高めることを目的に今後も継続していく。

犬山市観光戦略 施策別シート

重点
プロジェクト名

1 遊園ルネサンス

犬山市かわまちづくり計画 パース図（内田地区）



▼ かわまち計画



取り組み
状況

宵のカタリーヴァ R7.8



コルクで撃つ射的の体験ブース



射的の台は参加者による自作



風車クラフトでは色とりどりの風車を用意



子どもが主体となって作り方をレクチャー

INUYAMA YOI NO MICHİ 竹あかりナイトウォーク R7.12 – R8.1



下流側には入口となるアーチを設置



インディゴとも連携して一体感を創出

犬山市観光戦略 施策別シート

重点
プロジェクト名

2 日本ライン再発見ルート

高めるもの・
方向性

景観・インフラの整備（ハード施策）

チャレンジ
する施策

栗栖の自然環境を活かしたアクティビティサイトの整備と充実

施策の
取り組み

栗栖園地は木曽川河川敷内の広大な芝生広場であり、普段からキャンプ利用等で親しまれている。R2年度に国土交通省により園地南部分の竹木伐根が実施されたことを契機に、R4年度から園地拡張工事(芝貼り)の4カ年目を実施。増水や獣害の影響を受けつつも事業を継続し、景観向上と園地拡張により利活用や地域活性化を図る。



芝張り 実施前



芝張り 実施後



一輪車で芝生を運搬



芝生を丁寧に並べていく

取り組み
の総括

財源にはあいち森と緑づくり都市緑化推進事業を活用し、栗栖園地利用者へ現地での受付時に参加を呼び掛けることに加え、桃太郎発展会を中心とした地域住民と市職員の延べ人数51名が協働して芝張りを実施。R7年度では芝生エリアを1,260㎡拡張した。

芝張り(拡張)の実績

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
2,250㎡	1,260㎡	1,303㎡	1,260㎡	6,073㎡

今後の展開
(予定)

R7年度国交省に登録された「犬山市かわまちづくり計画」では栗栖地区も計画の対象エリアとしている。今後は将来にわたって栗栖園地を持続可能かつ適正に管理できるような仕組みを作り、親水空間の充実・地域経済活性化を実現したいと考える。河川敷地占用許可準則で定められている「都市・地域再生等利用区域」の指定を受けた上で管理団体の認定を目指し、引き続き関係機関との協議・検討を進める。

また、駐車場の改修工事(ライン引き)・進入路の拡張工事も実施していくことで栗栖園地の利便性を向上させていく。

犬山市観光戦略 施策別シート

重点
プロジェクト名

2 日本ライン再発見ルート

犬山市かわまちづくり計画 パース図（栗栖地区）



▼かわまち計画



取り組み
状況



様々な団体と協働しながら実施



目串を打ち込んで芝生を固定



芝生エリアの全体図

犬山市観光戦略 施策別シート

重点
プロジェクト名

3 城下町景観・環境レベルアップ

高めるもの・
方向性

市民とともにある観光（市民参画・交流・関係人口・多様な参画）

チャレンジ
する施策

本町通りの在り方再構築（屋外広告物、ごみ・音・においなどの環境）、目指す姿とまちのルールづくり

施策の
取り組み

本町通り周辺には多くの来訪がある一方で、ごみ・音・混雑などの課題が生じている。地域住民と観光客の共存と調和を図るため、各種取組みを実践・継続している。交通誘導警備員の配置、仮設休憩所とゴミ箱の設置、手持ち看板によるマナー啓発、環境整備員による清掃活動、住民用臨時駐車場確保等の取組みを行い持続可能な観光地を目指す。



車両の通行時に観光客へ呼びかける



福祉会館跡地にテント等を設置



交通誘導警備員の手持ち看板によるマナー啓発



環境整備員による城下町の清掃活動

取り組み
の総括

課題は多様であり本質的な解決は直ぐには成し得ないが、出来ることから実践していくことが重要と考えている。取組み内容に関しては今後も更なる工夫は必要であるものの、一定の効果があると認識している。

また、来訪者に対しては「犬山観光ナビ」へ犬山城の年間混雑予測カレンダーを掲載するなど、混雑期の分散化に向けた取組みも実施した。

なお、これらの取り組みは観光庁の「令和7年度 オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」を財源として活用した。

今後の展開
(予定)

来訪者・地域住民が共存・調和した観光地づくりを目指し、引き続き必要な取組みを粘り強く実施していく。犬山観光全体の課題を的確に捉えた上で、混雑時期や新たな課題など、現場の状況に応じて適切に対応して取り組んでいく。

また、各種プロモーションやコンテンツ造成等において平準化・分散化につながる施策を推進することも重要であり、取組みを進める。

犬山市観光戦略 施策別シート

重点
プロジェクト名

3 城下町景観・環境レベルアップ



北小学校の駐車場を地域住民へ開放



城下町の各所へゴミ箱を設置



満タンになったごみは環境整備員が回収



道路上のごみ拾いも実施

取り組み
状況

混雑度は4段階で表しています。「とても混雑」の日は2時間以上お待ちいただく可能性があります。

スムーズ
30分未満

やや混雑
30分～60分待ち

混雑
60分～90分待ち

とても混雑
90分以上待ち

※あくまで目安であり、当日の天候や時間帯などにより、実際の混雑状況と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

2026. 07

8月

2026. 09

日	月	火	水	木	金	土
						1 スムーズ
2 スムーズ	3 スムーズ	4 スムーズ	5 スムーズ	6 スムーズ	7 スムーズ	8 スムーズ
9 やや混雑	10 やや混雑	11 やや混雑	12 やや混雑	13 やや混雑	14 やや混雑	15 混雑
16 やや混雑	17 スムーズ	18 スムーズ	19 スムーズ	20 スムーズ	21 スムーズ	22 スムーズ
23 スムーズ	24 スムーズ	25 スムーズ	26 スムーズ	27 スムーズ	28 スムーズ	29 スムーズ
30 スムーズ	31 スムーズ					

「犬山観光ナビ」に犬山城の年間混雑予測を表示し、混雑の分散化に努める

犬山市観光戦略 施策別シート

重点
プロジェクト名

3 城下町景観・環境レベルアップ

高めるもの・
方向性

市民とともにある観光（市民参画・交流・関係人口・多様な参画）

チャレンジ
する施策

本町通りの在り方再構築（屋外広告物、ゴミ、音・においなどの環境）、目指す姿とまちのルールづくり

施策の
取り組み

城下町の課題を共有した上で改善の取り組みを実践する為に、犬山商工会議所、犬山市観光協会、犬山まちづくり(株)、犬山市の4者により「SDGs観光まちづくり会議」を月1回開催し検討を進めている。課題の一つに事業者間の繋がりが生まれづらい状況にあることから、事業者同士の意見交換や交流、R8.1に「SDGs観光まちづくり交流会」R8.4に犬山祭のトイレマップ作成、R8.8には「犬山ひんやりプロジェクト」を実施した。



※ 過年度の写真

SDGs観光まちづくり交流会の様子



※ 過年度の写真

R8.1の交流会には19名の事業者が参加



犬山ひんやりプロジェクトで氷柱を設置



2回目となる夏の暑さを和らげる取り組み

取り組み
の総括

4者による「SDGs観光まちづくり会議」を月1回程度と頻度高く開催し、課題を共有した上で具体的な取り組みを検討し実践している。会議の実績としてはR8.1に「SDGs観光まちづくり交流会（懇親会）」、R8.8には「犬山ひんやりプロジェクト」などを開催し、多くの事業者が参加してくれて約20店舗の店先に氷柱が設置された。

R8.4の犬山祭では事業者に対して関係者がトイレを使用することの協力依頼をしたところ18店舗の事業者が賛同したほか、公共施設など全17箇所をまとめた「犬山祭トイレMAP」を作成して地域住民と事業者の橋渡しが出来よう取り組んだ。

関係者からは好意的な反応が多く、事業者同士の情報交換も含めた交流の機会を継続していくことが重要であると認識できた。

今後の展開
（予定）

今後もSDGs観光まちづくり会議は定期開催し、課題の改善の為の取り組みを継続実施していく。事業者同士の繋がりが深くなることで強い地域を形成することに資すると捉えており、今後も交流や情報交換、共通の学びの機会を設けるよう努める。

将来的には、事業者同士の緩やかな繋がりがあり、地域全体で連携し課題の改善に取り組むことが出来る持続可能な観光地づくりを目指す。

犬山市観光戦略 施策別シート

重点
プロジェクト名

3 城下町景観・環境レベルアップ

犬山祭トイレマップ R8.4



犬山祭トイレ MAP



現段階でのトイレの場所です。
使用許可は今後の観光キャンペーンなどで

犬山祭の参加者（お囃子子ども達）が祭事にトイレを使用できるように、公共施設を中心に全17カ所を取りまとめた。

取り組み
状況

犬山ひんやりプロジェクト R8.8

みんなでいっしょに COOL!

第2回犬山ひんやりプロジェクト

①みんなで氷柱プロジェクト！「#犬山水柱」
牛乳パックなどで作る簡単な氷柱を店先や店内に設置してみませんか。
【実施日】
令和8年8月6日（木）・8月20日（木）
各日 午後1時～
・造花などを使ったオリジナル氷柱を飾りませんか。
・沸騰したお湯から氷柱を作ると、きれいな氷になります。
◆同時開催 8月6日（木）・8月20日（木）
大きな氷柱を設置（城前観光案内所、どんでん館など）

②みんなで打ち水プロジェクト！「#犬山打水」
下記の日程で一斉に打ち水をしましょう。
【実施日】
令和8年8月6日（木）・8月20日（木）
各日 午後1時～
・軒先において、いつでも自由に打ち水してもらってはいかがでしょうか。

（昨年度の様子）

SDGs 観光まちづくり会議 ～犬山市・犬山市観光協会・犬山商工会議所・犬山まちづくり株式会社～



名経大の観光学生大使による打ち水



観光客が氷柱で涼を感じる取り組みとなる

犬山市観光戦略 施策別シート

重点
プロジェクト名

6 クロスオーバー資源開発

高めるもの・
方向性

資源発掘・創造・ブランド形成（ソフト施策）

チャレンジ
する施策

デジタルコンテンツの充実

施策の
取り組み

「ふるさと」を起点に、地域が抱える実課題の解決に挑む、東海発のオープンイノベーションプログラムとしてR7.9に「ふるさとイノベーションコンテスト」が開催された。本市が抱える観光課題の解決策を募り、全89社からの提案が厳正に審査された結果、みんなで創る動画ガイドブック「New Travel」が最優秀賞を受賞し、R8.1～3月には犬山市でPoC（概念実証）を展開した。



取り組み
の総括

最優秀賞となった「New Travel」は動画ガイドブックとして各店舗のHPに直接リンクから閲覧出来るようになっていることに加え、動画を投稿することでの発信やデジタルスタンプラリーによる周遊促進などアプリを活用する手法として取り入れることが出来た。事業者に協力を得るための説明会には77事業者が参加、市内の動画数は2,000本を超えて2か月間で多くのユーザーが利用した。アプリのダウンロードを促すためにデジタルスタンプラリーによるPayPayポイント付与、各地での周知活動（金山駅、城前広場、内田防災公園など）にも取り組んだ。

今後の展開
（予定）

「New Travel」の取り組みを継続していくため、「大人アガル犬山」リーフレットへの掲載による周知などに努めていく。動画による魅力発信は犬山城下町への一極集中を分散させ、市内全域に賑わいを広げる取り組みにもなるため、今後も事業者などと連携しながら周遊を促進させるための取り組みを展開していく。

犬山市観光戦略 施策別シート

重点
プロジェクト名

6 クロスオーバー資源開発



ふるさとイノベーションコンテスト 表彰式



▲ ふるさとイノベーション
コンテスト



▲ New Travel

取り組み
状況



R8.1 事業者への説明会



R8.1 金山駅でチラシの配付

PoCの効果とKPI

KPI	目標値	3/26時点	3/26達成率
勉強会の参加者数	60事業者	77事業者	128%
市内の動画数	100本	2,064本	2,064%
城下町以外の動画割合 (※本町通以外)	30%	84%	280%
リンククリック率 (※クリック数÷動画完全視聴本数)	3%	4.5%	150%
犬山市で生成された旅行プラン数	30プラン	49プラン	163%
人流可視化のレポート回数	4回	3回 (継続)	75% (100%達成予定)
スタンプラリー利用者数	400user	268user	67%
タッチパネル動画視聴本数	300本 (5本/日×60日)	535本	178%
地域住民の投稿本数 (※200円CP開始の1/30以降のみカウント)	60本	1,024本	1,706%
寄付額	3万円	4月以降 実施予定	XX%

R8.1～3に実施した結果のまとめ

犬山市観光戦略 施策別シート

重点 プロジェクト名	6 クロスオーバー資源開発
高めるもの・ 方向性	滞在・体験型観光（宿泊施設の充実&多様な体験コンテンツ提供）
チャレンジ する施策	季節ごとに異なるコンテンツ・体験イベントの実施
施策の 取り組み	観光地の魅力向上には季節ごとに異なるコンテンツの充実が重要となる。体験型観光コンテンツをまとめて楽しめる企画「思い出できすぎ#犬山体験」を春休みと夏休み時期に開催した。また、初夏(6月)・冬(2月)には花手水（はなちょうず）を展開し城下町の新たな魅力づくりに努めた。犬山市の公式キャラクター「わん丸君」が3代目となり15年ぶりにリニューアル。。R7.12月-R8.1月には「INUYAMA YOI NO MICHl 竹あかりナイトウォーク」を開催して市内全5ヶ所で竹あかりをキーワードに周遊を促した。
	 ainiを活用して体験メニューを紹介
	 花手水による閑散期の魅力づくり
	 15年ぶりにわん丸君がリニューアル
取り組み の総括	 INUYAMA YOI NO MICHl 竹あかりナイトウォーク
	「思い出できすぎ#犬山体験」はR7年度でメニュー12件、延べ387人の参加があり、観光客が人との新しい繋がり・発見の場として、犬山の魅力を発見できる機会を提供。閑散期の観光コンテンツ充実も視野に花手水（はなちょうず）を初夏と冬に設置し、花手水の取組みに参画する事業者や神社等も増えており将来は展開が大きくなることを期待している。平成12年に登場したわん丸君が平成21年から活躍していた2代目から15年ぶりに3代目へR7.9月にリニューアルした。R7年12月-R8年1月には「INUYAMA YOI NO MICHl 竹あかりナイトウォーク」を開催して市内全5ヶ所に竹あかりを設置。閑散期における市内周遊と夜のコンテンツ造成による宿泊者数増加を目指し、善師野伏屋では6,356人が来場した。
今後の展開 (予定)	観光コンテンツの充実は観光地の魅力向上や価値の高まりだけでなく、季節ごとに異なる魅力を提供することで観光客の分散化・平準化にも繋がると考える。 また、観光コンテンツにおける担い手の増加は、観光に関わる市民が増えることで観光施策推進の理解を深めるとともに、支援・参画者を増やすことにも繋がるため取組みを継続していく必要がある。

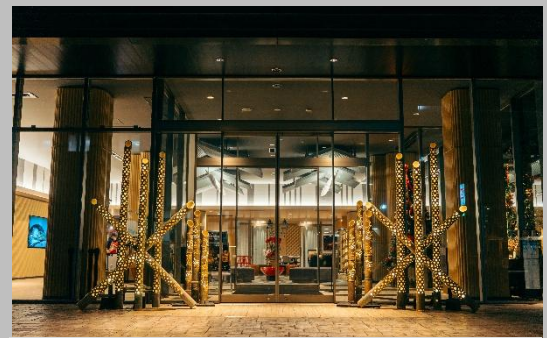
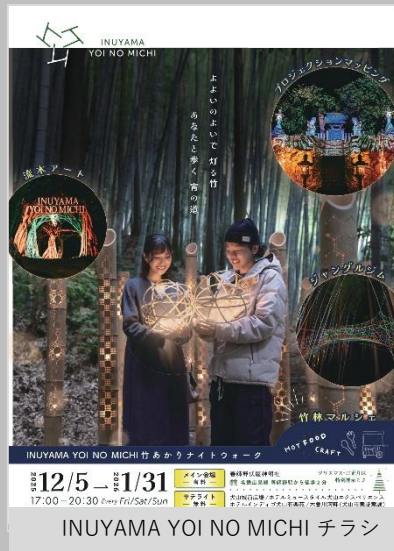
犬山市観光戦略 施策別シート

重点
プロジェクト名

6 クロスオーバー資源開発



取り組み
状況



犬山市観光戦略 施策別シート

重点
プロジェクト名

6 クロスオーバー資源開発

高めるもの・
方向性

資源発掘・創造ブランド形成（ソフト施策）

チャレンジ
する施策

犬山祭がつなぐ観光まちづくりの推進
ナイトタイムエコノミーの充実

本市には長い歴史と魅力を有する催事が多くあり、中でもユネスコ無形文化遺産である犬山祭や、夏の風物詩である日本ライン夏まつりロングラン花火などは毎年多くの来訪があると同時に、市民からも親しまれ愛されている。イベントとしての回数を重ねてブラッシュアップすることで犬山観光の価値とブランド力を高め郷土愛の醸成に繋がると考える。R7-8年度も工夫と改善を重ね魅力あるイベントとなった。

施策の
取り組み

ユネスコ無形文化遺産
国指定重要無形民俗文化財
第三百九十二回 犬山祭

【4月4日(土) 試楽祭】
【4月5日(日) 本楽祭】

犬山祭の見所

- 車山組立
- からくり
- どんでん
- 夜車山
- 鏡り舞

犬山祭車山 運行スケジュール

4月4日(土) 試楽祭

4月5日(日) 本楽祭

夏まつり
ロングラン
花火

2024
8.1 SAT [土]
8.10 SUN [日]

木曽川河畔
ツインブリッジ下流
各日20時頃から 約10分開催

10日の最終日についても、
1日から9日までと同様の打上数です。
分散してお越しください。

※各日約300発打上げ。
※河川増水の場合は中止となります。
※観客席の設置はございません。

ロングラン花火 各日のテーマ

- 8.1 (土) 増えゆく無敵の
- 8.2 (日) 豊饒の花鳥風月
- 8.3 (日) 未来へ羽ばたく白田の光
- 8.4 (日) 夜空を彩る緑の大輪
- 8.5 (日) 都下町の夕暮れ
- 8.6 (日) 文化と交流のぬくもり
- 8.7 (日) 星の夜に輝くエメラルド
- 8.8 (日) 時を越える黄金の輝き
- 8.9 (日) 木曽川のせせらぎ
- 8.10 (日) 多彩なる未来

取り組み
の総括

R8年4月に開催された第392回犬山祭では、1日目の夜車山（よやま）が雨天により中止となったが、観光客が集中することに備えて交通規制の範囲を見直すことで、関係者と来訪者の双方にとってより安全に迫りと魅力ある催事となるよう取り組んだ。

R8年8月に10日間連続で開催した第47回日本ライン夏まつりロングラン花火では、市内企業等から協賛金を募って全88社より協賛を得た。また、同時に開催した宵のいぬやマルシェには各日約20店舗の出店があり、催事に賑わいを創出した。

今後の展開
(予定)

犬山祭、ロングラン花火ともに、来訪者及び市民が楽しみ、愛着を持つ大規模で魅力的な催しとなっている。今後も安全な運営が最重要であり、その前提の上で魅力的でチャレンジングな取り組みを模索していくことになる。関係機関、団体、警察等との連携と協力を得ながらその時点での最適な内容となるよう、細心の注意を払い進めていく必要がある。

犬山市観光戦略 施策別シート

重点
プロジェクト名

6 クロスオーバー資源開発

取り組み
状況

第392回 犬山祭 R8.4



警備員を配置して交通誘導



トイレの設置箇所を見直して受入体制を強化



誘導用のバリケードを設置



夜車山の点灯時には多くの観覧客が来場

第47回 日本ライン夏まつりロングラン花火 R8.8



飲食ブースなど約20店舗が出店



多数の観覧客が来場して花火を鑑賞



宵のうたかた亭による出店



民地側での出店状況も配慮しながら運営

犬山市観光戦略 施策別シート

重点
プロジェクト名

8 広域連携

高めるもの・
方向性

広域連携による周遊観光の構築（市外連携型の観光コンテンツ提供）

チャレンジ
する施策

県内～東海～中部～全国など圏域ごとの連携強化（名古屋市・県内自治体・各務原市・木曽川流域・昇龍道）
城・木曽川などテーマに即した広域連携とコンテンツ造成（国宝五城・木曽川中流域・尾張藩）
リニア中央新幹線開業を意識した広域連携推進（首都圏・関西圏・インバウンドを意識した誘客）

施策の
取り組み

圏域及びテーマに即した広域連携とコンテンツ造成を進めている。犬山城は本市の重要な強力なコンテンツであり、来訪動機の高い観光誘客に繋がると考え国宝五城でのPRに注力した。また「木曽川流域」という繋がりでも周辺自治体と連携することにより地域全体の魅力向上に資する取組みを進めた。木曽川を挟む各務原市との共同での取組みとして高質化した屋形船を用いて催事を実施した。さらに名古屋鉄道(株)によるなごや圏という枠組みで「Co-machi」などによる広域連携にも取り組んだ。



国宝城郭都市観光協議会



木曽川中流域観光振興協議会



犬山・各務原広域観光推進協議会



Co-machi 観光推進会議

取り組み
の総括

犬山の主要な観光資源である「城」に注力した広域連携や「木曽川」をテーマとした取組みのほか、「なごや圏」として圏域で連携したプロモーションは有効であり、市単独では成し得ない広域で大規模な宣伝・取組みを展開した。

今後の展開
（予定）

各種協議会での取組みへ積極的に参画することで、観光客への宣伝・PR及び他自治体などとの連携強化につなげていく。
また、遠方からの観光客やインバウンドが増加していくことに対応できるよう、より効果的な宣伝・誘客のスキーム、受入環境整備を検討・実践していく。

犬山市観光戦略 施策別シート

重点
プロジェクト名

8 広域連携

取り組み
状況

国宝城郭都市観光協議会



御城印の書き下ろしが人気

木曽川中流域観光振興協議会



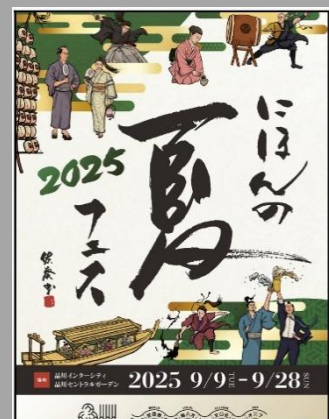
犬山朝市が時間を延長して出店

犬山・各務原広域観光推進協議会



船を活用し、湊にはマルシェを出店

Co-machi 観光推進会議



品川のオフィス街で犬山をPR

犬山市観光戦略 施策別シート

重点
プロジェクト名

その他

高めるもの・
方向性

域内循環型の観光産業確立

チャレンジ
する施策

新たな財源獲得検討（税、利用料、寄付、クラウドファンディングなど）

● 観光駐車場における特定日の設定

自動車の駐車料金で特定日(300円/時間 ⇒ 500円/時間)を設けたことで次のようになった。



キャスルパーキング（最大収容台数 約150台）



内田観光駐車場（最大収容台数 約380台）

年度	特定日の日数	年度内 駐車台数	年度内 売上額
R5年度（導入前）	0 日間	173,524 台	107,837,600 円
R6年度	21 日間	169,742 台	115,824,100 円
R7年度	46 日間	175,536 台	130,954,100 円

施策の
取り組み
総括

● 犬山城の入場登閣料の改定

今後予定している事業や将来的に必要な費用をまかなうため、R8年3月より次のとおり改定した。

区分	変更前	変更後
一般	550 円	1,000 円
小中学生	110 円	200 円



● 木曽川鵜飼のふるさと納税型クラウドファンディング

R7年6月～12月の7カ月間に寄附を募ったことで、
143,000円の寄附を受けることが出来た。



今後の展開
(予定)

特定日の設定により、混雑緩和への影響を確認するとともに、財源確保の効果も検証していく。また、効果が見込める幅広い手法を用いて財源確保に努めていくことで持続可能な観光地づくりを目指す。